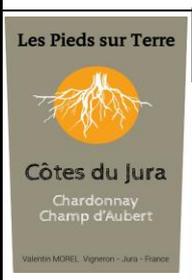


ストラスブールで法律家の道を行っていたヴァランタンだったが、家業のワイン造りへと戻ることを決意。醸造学校に通っていたアルザス滞在中に知り合った同級生達とともに、パトリック・メイエ、ブリューノ・シュレール、ピエール・フリックらのドメーヌ訪問を続ける中で、ヴァン・ナチュールへと引き込まれていく。1985年創業のドメーヌはドメーヌはバイオジック栽培ではなかったものの父の代の1999年に除草剤を廃止していた。2014年にヴァランタンが当主となってすぐにバイオジック栽培へと切り替え、数年後には認証も取得。福岡正信の考えにも深く共感し、栽培だけではなく醸造面でもどのように不必要な介入を避けることができるかを考えながらのワイン造りへとスタイルを移行した。初期のVTから丁寧で慎重なワイン造りが感じられ、非常に素直な果実味が表現されたワイン造りを行っている。ヴァランタンが2014年にドメーヌの運営を引き継いで以来、立て続けに遅霜や熱波など、ベテランの生産者でも経験のないVTが続き、PIWI品種の植樹をするという考えに至り、PIWI品種についての本も執筆した。

<https://editions.flammarion.com/un-autre-vin/9782080283818>

	<p>◎Crémant du Jura - Brut Nature クレマン・デュ・ジュラ ブリュット・ナチュール</p>		<p>備考</p> <p>ドザーージュ無し。濃縮ブドウ果汁（MRC）で瓶内二次発酵を行う。柑橘系の香りが爽やかで、立体感のある味わい。ペティヤン・ナチュレルほど気軽ではないが、生き活きとした個性のスパークリングワイン。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シャルドネ100% 植樹：1980年代 土壌：石灰質堆積</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタンクで醗酵 瓶内で2年半熟成</p>		
	<p>◎Brut - Crémant du Jura «Alter Natif» (2014-2015) ブリュット クレマン・デュ・ジュラ アルテナティブ</p>		<p>備考</p> <p>名前の由来：Alternatifは違いを意味するが、Alter, Natifと二つに分けると「異なる生まれ方をした」という意味になる。つまり、このクレマンは従来のものとは別物と考えている。醸造製品（この場合はMRC）の購入に依存することなく、自立した方法でワイン造りをするということは、ヴァランタンにとってとても重要なことなのだ。控えめな泡、少しの残糖魅力的なスパークリング。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シャルドネ100% 植樹：1982年 位置：標高380m、西向き</p>	<p>醸造</p> <p>ドゥミミュイ(500L)の樽で15日間醗酵 瓶内二次発酵は翌年の、同じ区画の畑の果汁を使用</p>		
	<p>○Côtes du Jura - Chardonnay Les Trouillots コート・デュ・ジュラ シャルドネ・レ・トゥルイヨ</p>		<p>備考</p> <p>斜面中腹に植わるシャルドネで、土壌由来の、鉱物感と骨格を持つ。ふくよかな果実味も備えたバランスの取れたワイン。 2016VTは2017年のサヴァニャンのマーを、完全発酵させるために漬け込み、再醗酵を促した。その分熟成も通常より長かった。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シャルドネ100% 植樹：1979年 位置：標高320~350m、南向き 土壌：赤色と灰色の泥灰土</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタンク及び木製樽で発酵 木製樽（228L）で1-2年間熟成</p>		
	<p>○Côtes du Jura - Chardonnay Saint Savin コート・デュ・ジュラ シャルドネ・サン・サヴァン</p>		<p>備考</p> <p>ドメーヌの所有する最も古い畑の一つで、南西向きの夕暮れまで日当たりのよい畑。豊かな果実味で、しっかりとしたボディのワイン。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シャルドネ100% 植樹：1970~80年代 位置：南西向き 土壌：灰色と青色の泥灰土、石灰岩の比較的大きな石が転がる</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタンク及び木製樽で発酵 木製樽（500L）で1-2年間熟成</p>		
	<p>○Côtes du Jura - Chardonnay Champ d'Aubert コート・デュ・ジュラ シャルドネ・シャン・ドベール</p>		<p>備考</p> <p>短いマセレーションをかけたシャルドネ。ドメーヌの他のシャルドネよりもマセレーションをかけたことでとてもアロマティックになり、抽出感、酸化的醸造ニュアンスはしっかり感じる。</p>
<p>畑</p> <p>品種：シャルドネ100% 植樹：1980年代 位置：標高320~340m、南西向き 土壌：粘土石灰質</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタンクで12日間マセレーション 木樽（228L）とドゥミ・ミュイで10ヵ月間熟成</p>		

 <p>Les Pieds sur Terre Côte du Jura Chardonnay Semaine 16 Valentin MOREL, vigneron - Jura - France</p>	<p>○Côte du Jura - Chardonnay Semaine 16 コート・デュ・ジュラ シャルドネ・スメーナ 16</p>		<p>2017年、第16週 (Semaine16) に北部フランスを遅霜が襲った。そのため収穫できた各区画の少量のシャルドネを合わせて醸造。2017年の作柄から、酸味の際立ったワインとなった。</p>
 <p>Les Pieds sur Terre Côte du Jura Savagnin ouillé Valentin MOREL, vigneron - Jura - France</p>	<p>○Côte du Jura - Savagnin ouillé コート・デュ・ジュラ サヴァニャン・ウイエ</p>		<p>区画は、サン・サヴァンとレ・トゥルイヨ。ジュラ地方では補酒をしていない場合には、Savagninと、補酒した場合にはTraminerもしくはNaturéと表記する習慣があった。このキュヴェの初VTは伝統にならない、Naturéと表記したが、分かりやすくするため、2016年からはouillé (補酒をした) と表記している。エキゾチックな味付け、スパイシーな料理との相性が良い。</p>
 <p>Les Pieds sur Terre Côte du Jura Savagnin En Bois d'Arnaux Valentin MOREL, vigneron - Jura - France</p>	<p>○Côte du Jura - Savagnin En Bois d'Arnaux コート・デュ・ジュラ サヴァニャン・アン・ボワ・ダルノ</p>		<p>En Bois d'ArnauxはPolignyに位置するlieu ditで、2014年に土地を購入した若木の畑。 Savagnin Roseはアルザスの苗木屋からのセレクション・マサル。アルザスではKlevenerと呼ばれている品種である。一部マセレーションをしており、豊かな果実味と、厚みのあるテクスチャー。</p>
	<p>○VdF - Broken hearts are for assholes ブローケン・ハーツ・アー・フォー・アスホールズ</p>		<p>キュヴェ名は1991年に亡くなったアメリカのミュージシャン、フランク・ザッパへのオマージュ。彼はダダイストに影響を受け、美的慣習を疑うことに基づき作品を造り出していた。このザッパの曲の歌詞は、まったく馬鹿げた不条理なものに思えるが、実は非常に複雑で、アメリカ社会を風刺している。 ワインにとって2つの相反するもの (シャルドネとPIWI品種) を組み合わせることは不条理で、やるべきではないことに見えるかもしれないが、ザッパの曲のようなエネルギーに満ちたとても良いワインになった、とヴァランタン。エチケットのVol.2の記載は、本キュヴェが2017年に続いて2作目であるため。 PIWI品種の可能性を模索するヴァランタンの意欲作。</p>
 <p>Les Pieds sur Terre Côte du Jura Trousseau Les Trouillots Valentin MOREL, vigneron - Jura - France</p>	<p>●Côte du Jura - Trousseau Les Trouillots コート・デュ・ジュラ トウルソー・レ・トゥルイヨ</p>		<p>品種個性を生かした、果実味とスパイス感のしっかりとある、ワイナリーの名刺代わりの赤ワイン。</p>

 Côtes du Jura Pinot Noir Les Trouillots <small>Valentin MOREL, Vigneron - Jura - France</small>	● Côtes du Jura - Pinot Noir Les Trouillots コート・デュ・ジュラ ピノ・ノワール・レ・トゥルイヨ		備考 丘の上部に植わるピノ・ノワール。ドメーヌ・モレルのトゥルソーやブルサルと比べ、比較的色彩も薄く、軽快なスタイルの赤ワイン。
	畑 品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1982年 位置：南西 土壌：赤色と灰色の泥灰土	醸造 ステンレスタンクで1週間マセレーション、全房 ステンレスタンクで1年間熟成	
 Côtes du Jura Poulsard Les Trouillots <small>Valentin MOREL, Vigneron - Jura - France</small>	● Côtes du Jura - Poulsard Les Trouillots コート・デュ・ジュラ プールサル・レ・トゥルイヨ		備考 ドメーヌ・モレルのトゥルソーやピノ・ノワールよりもフレッシュで生き生きとしているのでいっばい目からでも楽しめるが、最後の一本としても納得のできる複雑味、飲み心地の良さを備えたブルサル酒。
	畑 品種：ブルサル100% 植樹：1982年 位置：標高350m、南向き 土壌：灰色泥炭岩、褐色泥炭岩	醸造 ステンレスタンクで12日間マセレーション、除梗 ステンレスタンクで1年間熟成	
 Côtes du Jura Poulsard En Trouillots Bâtard <small>Valentin MOREL, Vigneron - Jura - France</small>	● Côtes du Jura - Poulsard En Trouillots Bâtard コート・デュ・ジュラ プールサル・アン・トゥルイヨ・バタール		備考 Trouillots Bâtardは区画名(三畳紀の石灰質粘灰土)、2018VTから借り始めた畑で、以前は慣行農法での栽培がされていた。ヴァランタンが手入れをするようになってからは、ビオロジック栽培をしている。
	畑 品種：ブルサル100% 植樹：1982年 位置：標高350m、南向き 土壌：灰色泥炭岩、褐色泥炭岩	醸造 ステンレスタンクで18日間マセレーション、除梗 ステンレスタンクで8か月間熟成	
 Côtes du Jura Les Trouillots Semaine 16 <small>Valentin MOREL, Vigneron - Jura - France</small>	● Côtes du Jura Rouge - Les Trouillots Semaine16 コート・デュ・ジュラ・ルージュ レ・トゥルイヨ・スメーヌ16		備考 2017年、第16週 (Semaine16) に北部フランスを遅霜が襲った。赤品種は70%の収量減で、被害を免れた3品種をブレンドして造られた。2017年の作柄から、酸味の際立ったワインとなった。
	畑 品種：ピノ・ノワール20%、ブルサル10%、トゥルソー70% 土壌：泥炭岩、石灰質堆積	醸造 ステンレスタンクで20日間マセレーション ステンレスタンクで8か月間熟成	